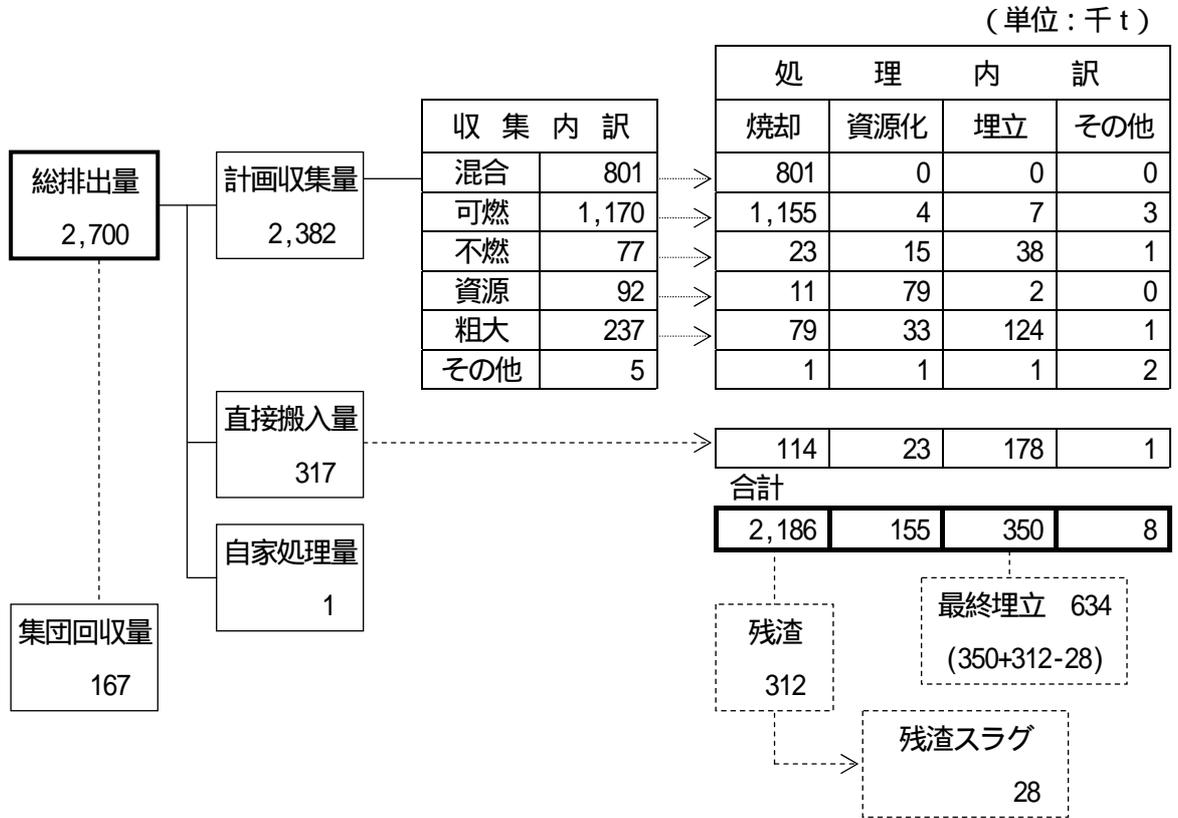


概要

1. 一般廃棄物処理の現況（平成 12 年度）

(1) ごみ処理の現況

全体的なごみ処理の状況は下図のとおりである。



総排出量

県下では約 2,700 千 t 排出されており、1 人 1 日当たりの排出量は、約 1,335g（うち計画収集ごみ約 1,177g）となっており、前年度より約 22g 増加している。（全国平均値：1,114g）

ただし、総排出量は増加しているが、資源化量が増加しているため最終処分量は、前年度より減少している。

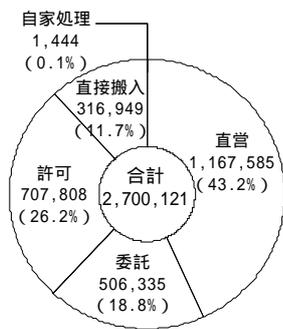
処理状況

ア 収集運搬

総排出量の収集運搬等の内訳は、図 - 1 のとおりである。

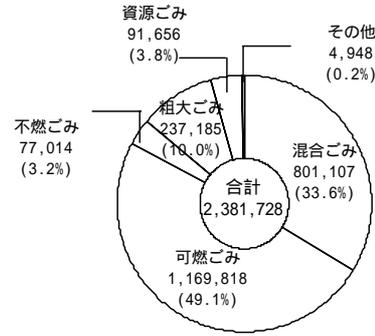
(ア) 計画収集

市町直営、委託業者、許可業者により収集運搬するごみは、約 2,382 千 t であり、その種別毎の内訳は、図 - 2 のとおりである。



(単位：t/年)

図 - 1 収集形態別ごみ内訳



(単位：t/年)

図 - 2 計画収集ごみ内訳

(イ) 直接搬入

排出者自らが処理施設に直接搬入するごみであり、地域により様ではないが、引っ越しごみのように一時に大量に発生するごみや、スーパー等事業活動から生じたごみである。

また、上記グラフには含まれていないが、直接搬入ごみには産業廃棄物も約 21 千 t (内約 8 千 t は焼却処理)あり、全直接搬入量の約 6%を占めている。

イ 処分

処分の基本フローは、図 - 3 のとおりであり、総排出量の処分内訳は、図 - 4 のとおりである。

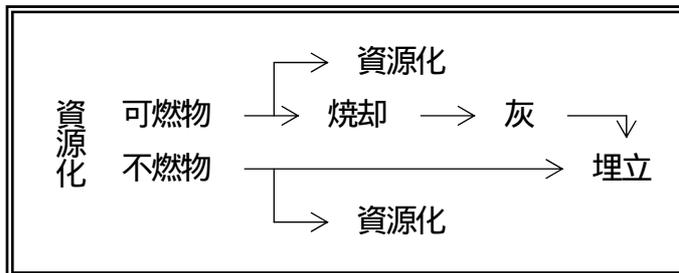
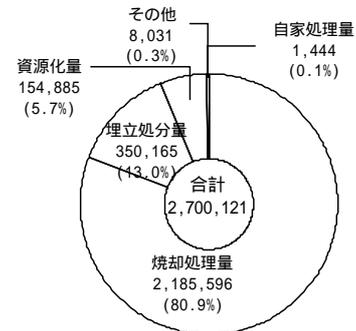


図 - 3 ごみ処理基本フロー



(単位：t/年)

図 - 4 処分内訳

(ア) 焼却処理

焼却処理量は、可燃ごみが主であり、前年度より 74 千 t 増加し、約 2,186 千 t で、その内訳は表 - 1 のとおりである。

なお、この他に産業廃棄物を約 8 千 t 焼却しており、焼却灰は、全体で約 312 千 t 発生している。

表 - 1 焼却処理量の内訳 (単位：t/年)

区分	処理量
混合ごみ収集分	801,107 (36.7%)
可燃ごみ収集分	1,155,330 (52.9%)
不燃ごみ収集分	23,305 (1.1%)
資源ごみ収集分	11,304 (0.5%)
粗大ごみ収集分	79,019 (3.6%)
その他収集分	1,208 (0.1%)
直接搬入ごみ	114,323 (5.2%)
合計	2,185,596 (100.0%)

(1) 資源化

収集された廃棄物からの資源化は、最終処分場の延命化、資源の有効利用等の観点から全市町(22市66町)が何らかの形で実施しており、154,885tの資源化が行われている。

なお、ごみ全体では、約5.7%(前年度5.0%)しか資源化されていないが、混合ごみ、可燃ごみを除けば、約21%(前年度18%)が資源化され、その内訳は、図-5のとおりである。

収集・搬入形態	収集・搬入量	左の内資源化量	資源化率(%)
混合ごみ収集分	801,107	0	0.0
可燃ごみ収集分	1,169,818	4,157	0.4
不燃ごみ収集分	77,014	15,081	19.6
資源ごみ収集分	91,656	78,555	85.7
粗大ごみ収集分	237,185	33,102	14.0
その他収集分	4,948	728	14.7
直接搬入ごみ	316,949	23,262	7.3
合計	2,698,677	154,885	5.7

図-5 資源化量の内訳(単位:t/年)

(ウ) 最終処分

ごみの最終処分量は、約350千tで、これに焼却残灰等約312千t(内約0.4千tは産廃分)及び産業廃棄物約13千tを加え、残渣資源化量約28千tを減じると、市町が取扱った最終処分量は、約647千tとなり、その内訳は、図-6のとおりである。

混合ごみ	0
可燃ごみ	7,478
不燃ごみ	37,853
資源化ごみ	1,779
粗大ごみ	124,141
その他	898
直接搬入	178,016
灰等	312,231
産業廃棄物	12,684
残渣資源化	27,793
合計	647,287

(単位:t/年)

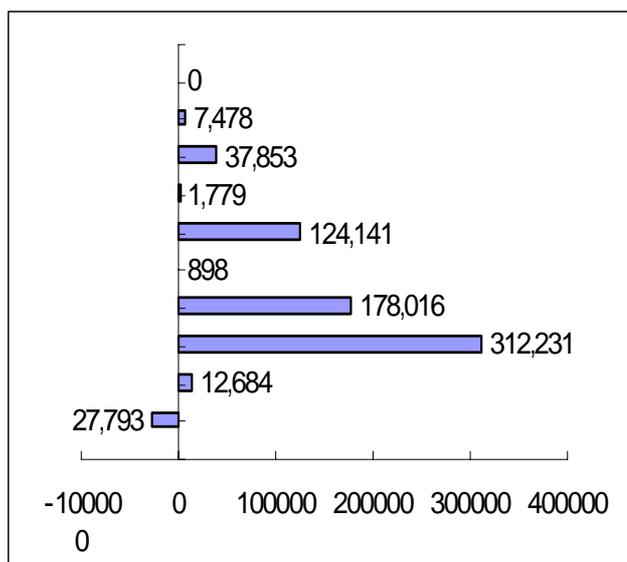


図-6 最終処分場

リサイクルの状況

ア 集団回収

一般廃棄物の中には、事業場から排出される事業系一般廃棄物もあり県内では総排出量 2,700 千 t の内約 1,000 千 t (約 37%) を占めている。また、排出量にはカウントされないが、自治会、婦人会、子供会等が実施している古紙、缶等の集団回収がある。平成 12 年度の集団回収量は約 167 千 t (前年度 154 千 t) であった。

イ リサイクル率

総資源化量 (集団回収量 + 処理に伴う資源化量) / 総排出量 (計画収集量 + 直搬一廃量 + 集団回収量) で示されるリサイクル率は 12 年度 12.2% と 11 年度 (11.0%) より、やや上昇しているが、11 年度全国平均 (13.1%) を下回っている。

参考

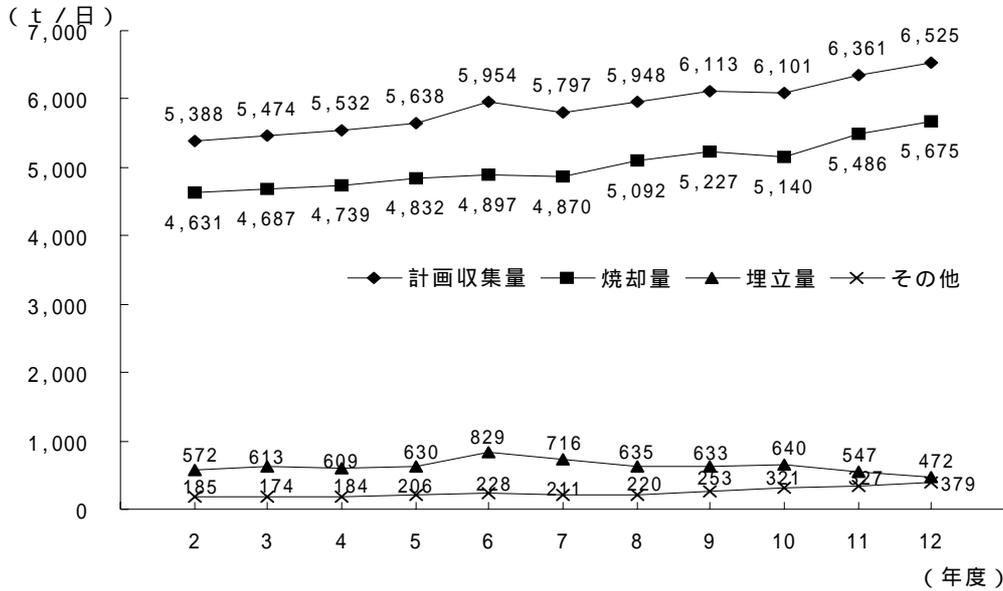


図 - 7 1日あたり計画収集処理内訳の推移

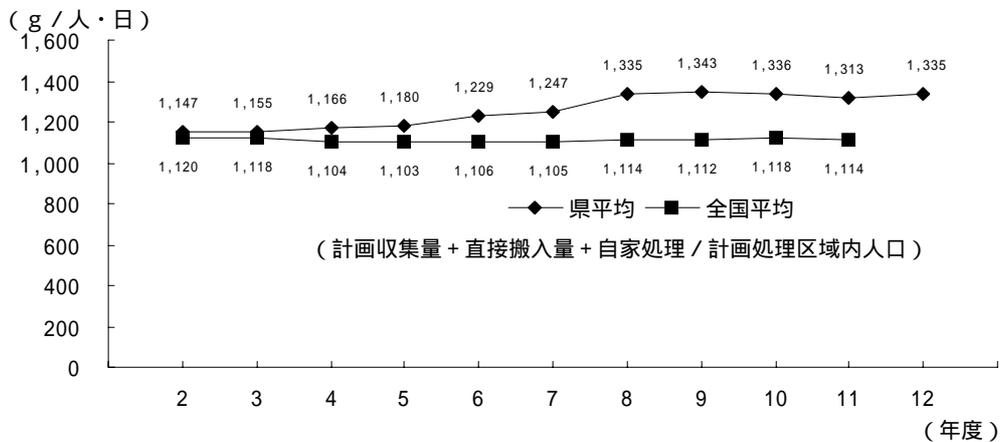


図 - 8 1人1日平均排出量の推移

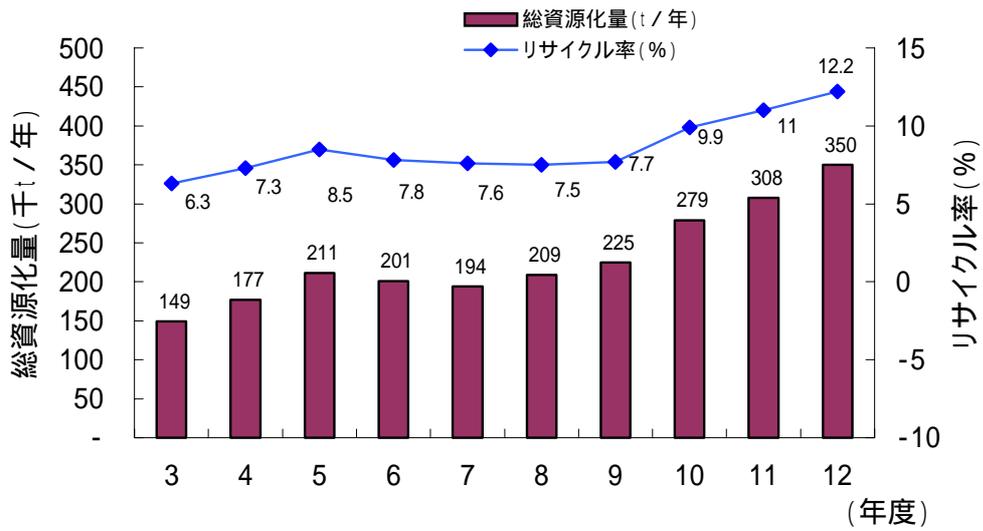
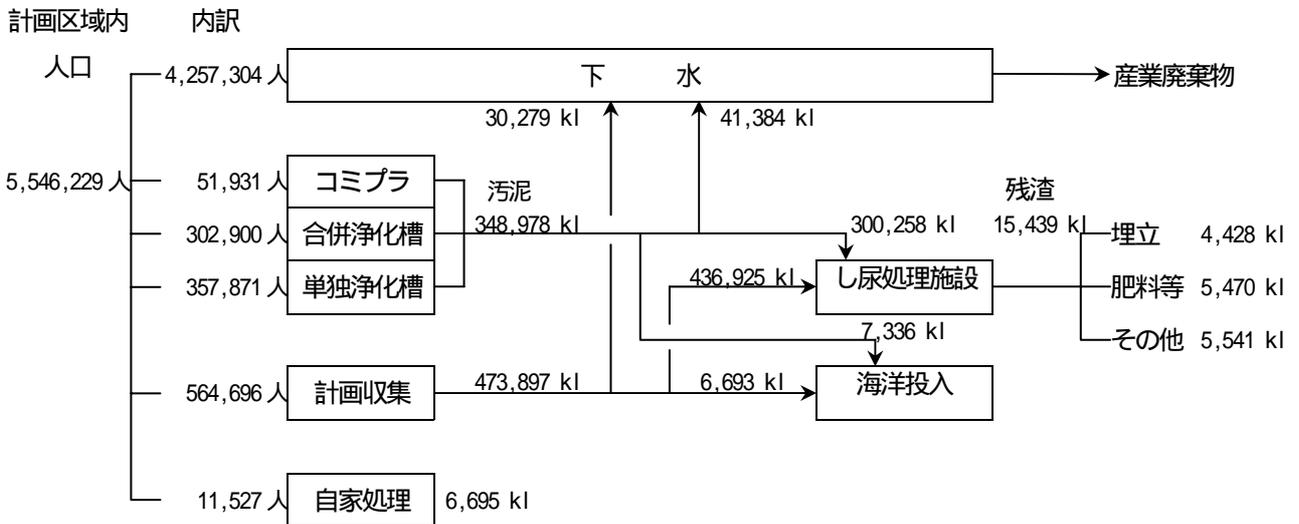


図 - 9 総資源化量とリサイクル率の推移

(2) し尿処理の状況

全体的なし尿処理の状況は下図のとおりである。

し尿処理フロー図 (平成 12 年度)



雑排水処理率 : (+ +) / = 83.2 %

水洗化率 : (+ + +) / = 89.6 %

1人1日当たりの排出量 : / / 365 × 1,000 = 2.3 L

排出の状況

計画収集として、し尿の形態で排出されるものが約474千KL、下水・浄化槽等での処理もし尿に換算すると、県下で年間約4,651千KLの排出量となる。1人1日に換算すると約2.3Lとなっている。

排出形態は、汲み取り便所と水洗便所に大別されるが、年々水洗化率は増加しており、平成12年度では89.6%となっている。また、生活排水対策の指標ともなる雑排水処理率も年々上昇しており、平成12年度では83.2%となっている。

	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.11(全国)
水洗化率 (%)	77.7	79.3	81.3	81.9	83.3	84.9	86.2	87.9	89.6	81.9
雑排水処理率(%)	64.6	67.1	70.6	71.8	74.2	76.3	78.8	80.9	83.2	62.4

一方、計画収集人口、自家処理人口は年々減少している。

	H.5	H.10	H.11	H.12
総人口	5,492,979	5,498,678	5,523,704	5,546,229
計画収集人口 (%)	1,065,585 (19.4)	731,920 (13.3)	653,974 (11.8)	564,696 (10.0)
自家処理人口 (%)	73,591 (1.3)	24,610 (0.4)	15,444 (0.3)	11,527 (0.2)

処理の状況

市町等が計画的に収集するものは、汲み取り便所からのし尿と浄化槽から発生する汚泥である。これらは、下水投入、し尿処理施設、海洋投入、農村還元により処分されている。

	下水投入	し尿処理施設	海洋投入	農村還元	合計
し尿(kl) (%)	30,279 (6.4)	436,925 (92.2)	6,693 (1.4)	0 (0.0)	473,897
汚泥(kl) (%)	41,384 (11.9)	300,258 (86.0)	7,336 (2.1)	74 (0.0)	349,052

また、し尿処理施設からの残渣は約15千t発生しており、この内約5千tが肥料等として有効利用されている。

参考

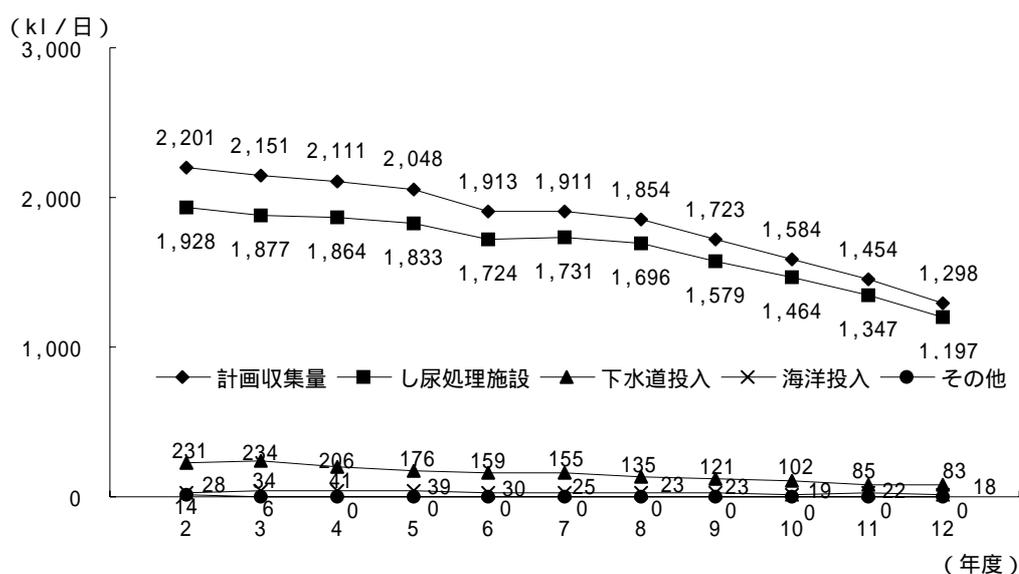


図 - 10 し尿処理状況の推移 (計画収集分平均日量)

2. 処理施設の整備状況

(1) ごみ処理施設（表 - 2）

ごみ処理施設は、H14.4.1 現在稼働中の施設が51 施設あり、種類別内訳は、表 - 3 のとおりである。現在建設中のごみ焼却施設が4 施設（すべて全連）ある他、建設中のR D F 施設が1 施設ある。

南淡町沼島で稼働していた県下唯一の固定バッチ炉がH14 . 3.31 で廃止している。

表 - 2 ごみ処理施設 (H14.4.1)

種 類	機械バッチ	准連続	全連続	R D F	計
施 設 数	16	11	23	1	51
処理能力(t/日)	443	889	8,265	30	9,627

(2) 粗大ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設（表 - 3）

ごみ粗大ごみ処理施設等は、休止中、建設中の施設がなく、26 施設が稼働している。

表 - 3 粗大ごみ処理施設・不燃ごみ処理施設 (H14.4.1)

種 類	粗大ごみ処理施設		不燃ごみ処理施設	計
	破 砕	併 用		
施 設 数	4	21	1	26
処理能力(t/日)	200	1,350	40	1,590

(3) 廃棄物再生利用施設、廃棄物資源化施設（表 - 4）

廃棄物再生利用施設等は、H14.4.1 現在稼働中の施設が36 施設あり、2 施設が建設中である。

表 - 4 廃棄物再生利用施設・廃棄物資源化施設 (H14.4.1)

種 類	廃棄物再生利用施設			廃棄物資源化施設 選 別 圧 縮 等	計
	リサイクルセンター	リサイクルプラザ	ストックヤード		
施 設 数	15	5	14	4	38
処理能力(t/日)	29.43	90.2	20.35	36	175.98

(4) 最終処分場

市町村設置の最終処分場（表 - 5 - 1）

H14 . 4.1 現在稼働中の市町村等設置の最終処分場は、49 施設あり、12 年度末の残余容量は、13,391 千 m³ となっている。残余量を 12 年度の埋立実績 640 千 m³ で予測すれば今後 21 年間ほどの容量となる。

しかしながら、市町間には大きなばらつきがあり、中には、既に処分場が満杯となり、新

たな処分場の確保が急がれるところもある。

表 - 5 - 1 市町村設置の最終処分場 (H14.4.1 現在)

種 類	施設数	全体面積(m ²)	埋立地面積(m ²)	全体容量(m ³)	12 末残余容量(m ³)	
埋立場所	山 間	33	4,264,959	1,793,094	34,037,805	13,002,024
	平 地	14	311,243	252,759	1,887,892	363,551
	水 面	1	12,300	12,300	72,000	4,507
	海 面	1	13,900	13,900	42,500	21,250
合 計	49	4,602,402	2,072,053	36,040,197	13,391,322	

大阪湾フェニックス事業 (表 - 5 - 2)

大阪湾広域臨海環境整備センターのフェニックス事業では、これまで稼働していた尼崎沖処分場が終了し、平成 13 年 12 月から新たに神戸沖処分場が受入を開始している。

表 - 5 - 2 大阪湾フェニックス事業 (H14.4.1 現在)

名 称 (稼働年度)	全体面積(m ²)	埋立地面積(m ²)	全体容量(m ³)	12 末残余容量(m ³)
尼崎沖 (~H14.3)	1,130,000	330,000	(1,961,000)	(229,251)
神戸沖 (H13.12 ~)	880,000	880,000	(2,988,000)	(2,988,000)

() 内兵庫県分

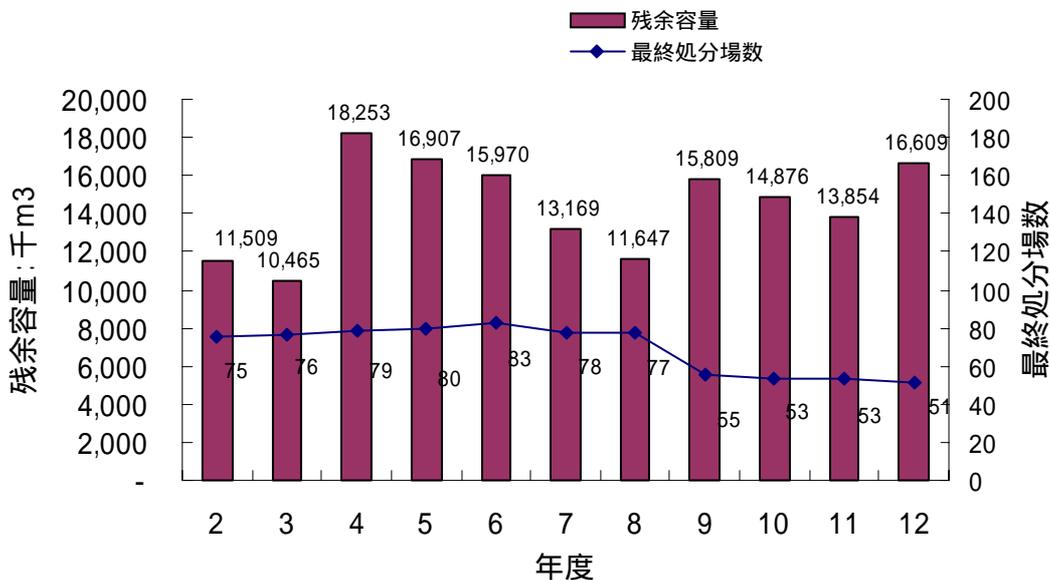


図 - 1 1 県下の一般廃棄物最終処分場の状況

(5) し尿処理施設 (表 - 6)

H14 . 4.1 現在稼働中のし尿処理施設は 37 施設であり、このほかに休止中の施設が 1 施設ある。

表 - 6 し尿処理施設 (H14.4.1 現在)

種 類	嫌気性処理	好気性処理	標 脱	高負荷	膜	下水圧送等	計
施 設 数	3	7	12	5	3	7	37
処理能力(t/日)	285	637	1,033	151	289	1,226	3,621

(6) コミュニティ・プラント

集落型の生活排水処理施設であるコミュニティ・プラントは、H14.4.1 稼働中の施設は、101 施設、計画処理人口 116,765 人であるが、建設中を含めると 109 施設、計画処理人口 147,889 人であり、2004 年生活排水処理率 99%を目指し、県下各地で計画的に整備が推進されている。

3. 廃棄物処理事業経費

(1) ごみ処理

ごみ処理事業経費の支出額は 1,064 億円となっており、建設改良費等を除く処理及び維持管理費は約 726 億円となっている。

建設改良費を除く内訳は、人件費 51%、処理費 23%、委託費等 26%となっている。

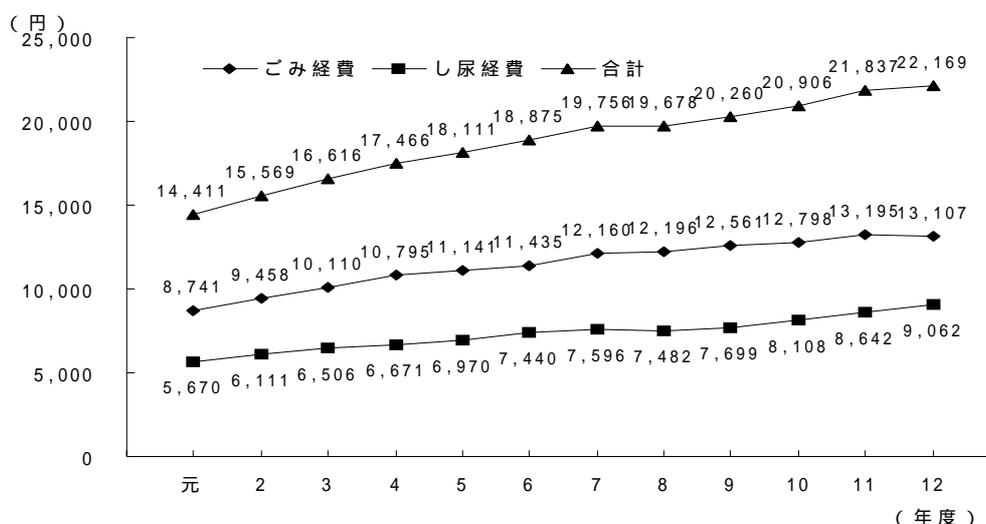
この、ごみ処理経費を市町処理量に係る経費として推定すると、1t 当たり約 30,488 円、計画収集人口 1 人当たり約 13,107 円/年となっている。

(2) し尿処理

し尿処理事業経費の支出額は、約 172 億円となっており、建設改良費等を除く処理及び維持管理費は約 116 億円となっている。

建設改良費を除く内訳は、人件費 34%、処理費 24%、委託費等 42%となっている。

この、し尿処理経費を計画収集し尿量及び浄化槽汚泥量の合計に係る費用として推定すると、1kl 当たり約 14,068 円、計画収集人口、コミプラ人口、浄化槽人口 1 人当たり約 9,062 円/年となっている。



年 度	5	6	7	8	9	10	11	12
ごみ経費(円/人)	11,141	11,435	12,160	12,196	12,561	12,798	13,195	13,107
し尿経費(円/人)	6,970	7,440	7,596	7,482	7,699	8,108	8,642	9,062
合 計	18,111	18,875	19,756	19,678	20,260	20,906	21,837	22,169

図 - 1 2 廃棄物処理事業経費の推移